

KYOTO
UNIVERSITY OF
EDUCATION 2016



京都教育大学 概要 2016

∞ シンボルマーク・マスコットキャラクター ∞

A シンボルマーク



京都 (kyoto) と教育 (kyoiku) のkを、樹木をかたどってデザインしたもので、本学の自然あふれるキャンパスを表しています。教養高き人としての確かな知識を幹とし、豊かな情操を表す曲線で囲まれた葉を生い茂らせ、未来を切り拓く積極的な態度をもってたくましく成長し続けるという学びの姿をイメージしています。

ユニバーシティカラー (KUE Purple) に用いられている紫色は、古来、位の高い貴族が着用した色ですが、現在大学がある藤森の地名だけでなく、本学の前身である師範学校の学生寮 (京都府師範学校「紫郊寮」、京都府女子師範学校「露草寮」) の名前とも縁の深い色です。伝統に根ざした本学の誇りを象徴しています。

B マスコットキャラクター



そったくん

漢籍に基づく禅の教えに、「啐啄同時 (そったくどうじ)」という言葉があります。これは、鳥の卵が孵 (かえ) ろうとする時、雛 (ひな) 鳥が内側から出ようとして殻を吸うと、これに応じて母鳥が外側から殻をつついて出るべき場所を教え、「啐 (そつ) (殻を吸う) と「啄 (たく) (殻をつつく) とが完全に一致した時に、雛が無事に孵ることができることを意味します。雛鳥が外に出ようと殻を吸う瞬間に母鳥が外からつつくことが大切なことから、教育全般のありかたについての教えにもなっており、本学学長室にはその書 (山内得立第2代学長の揮毫) が掲げられています。

「そったくん」は、教育者養成を目的とする京都教育大学を象徴化しています。

デザイン：1983年度卒業生 植原 幸治

目次

シンボルマーク・マスコットキャラクター	1
目的	3
アドミッション・ポリシー	3
カリキュラム・ポリシー	4
ディプロマ・ポリシー	4
学長メッセージ	5
沿革	6
沿革略図	7
役職員	9
機構図	11
教職員数	12
課程	13
学生数	15
平成28年度入学者選抜実施状況	17
卒業生数及び修了者数	19
学部卒業生の就職状況	21
奨学生数及び貸与状況	22
国際交流	23
公開講座	25
附属図書館	26
研究施設等	27
厚生施設	29
附属学校	30
平成27年度財務状況	36
施設配置図	39
ACCESS MAP	41
所在地	42

学年暦

4月1日	学年開始、前期開始、春季休業（11日まで）
4月7日	入学式
6月1日	創立記念日
8月10日	夏季休業（9月30日まで）
9月30日	前期終了
10月1日	後期開始
12月23日	冬季休業（1月4日まで）
3月24日	卒業式
3月31日	後期終了、学年終了



NIAD-UE (独) 大学評価・学位授与機構
認定マーク

このマークは、大学評価・学位授与機構の定める大学基準に適合した大学が使用できるマークです。



IETE 教員養成評価機構 認定マーク

このマークは、教員養成評価機構が定める基準に適合した教職大学院が使用できるマークです。



∞ 目 的 ∞

I. 本学の目的

京都教育大学は、学芸についての深い研究と指導とをなし、教養高き人としての知識、情操、態度を養い、併せて教育者として必要な能力を得させることを目的とする。

II. 本学の教育目的

1. 教育学部の教育目的
教養高き人としての知識、情操、態度を育成し、学校教育、社会教育、生涯学習等の広い教育分野で地域社会に貢献できる人材を養成することを目指す。
2. 大学院教育学研究科の教育目的
京都教育大学大学院教育学研究科は、学部における教養あるいは教職経験の上に、広い視野に立って精深な学識を授け教育関係諸科学の研究を深めることにより、教育の理論と実践に関する優れた能力を有する教育者の養成を目的とする。
3. 大学院連合教職実践研究科の教育目的
京都教育大学大学院連合教職実践研究科は、学部における教員養成教育と現職教員の教職経験の上に、教育の理論と教職実践を深く追究させることにより、教職に関する高度専門的な知識と実践的指導力を統合的に有する教員の養成を目的とする。
4. 特別支援教育特別専攻科の教育目的
京都教育大学特別支援教育特別専攻科は、主として現職教員を対象とし、精深な程度において発達障害学に関する専門の事項を教授し、その研究を指導して、資質の向上を計ることを目的とする。

III. 本学の研究目的

京都教育大学は、「人を育てる知の創造と実践を担う大学」である。教育学部を擁する単科大学として、深い研究を通じた質の高い教育を為すとともに、教育に関する新しい知の創造と実践によって地域及び国際社会に貢献し、併せて責任と使命を自覚した実践力のある教員及び広く教育に携わる専門家を養成することをめざす。そのため、本学は、科学・芸術・スポーツなどの広い学芸を対象として、知を生み出す基礎研究、その成果を教育に活かす応用研究、さらに教育の場につなげる実践研究などの学術研究を推進することを目的とする。

∞ アドミッション・ポリシー ∞

教育学部

京都教育大学が期待する学生像

本学は教員養成大学として以下のような学生の皆さんの入学を期待しています。

- 子どもの成長に関わることに喜びを感じ、将来は教員として学校教育に携わり、地域や国際社会に貢献しようとする人。
- 教育の基礎となるさまざまな科学、芸術、スポーツなどに興味・関心を持ち、幅広い学力と旺盛な探究心によって、知識や技能を深めようとする人。
- 質の高い教育を行うための専門性や実践的能力を習得することに努力を惜しまない人。
- 人間としてあるべき倫理観と人権意識を常に高く持ち、社会において学校教育を始めとした人材養成に関わっていくことを目指す人。

入学者選抜の方針

本学は、教員を強く志望する学生を受け入れます。多彩な人材が切磋琢磨する学習環境が重要であると考え、多様な入学者選抜を実施しています。優れた教員の養成を社会的責任とする大学として、入学者選抜においては特に以下の点を重視しています。

- 特定の領域や分野に偏らない幅広い基礎学力を持っていること。
- 志望する専攻と関連の深い教科に関しては特に高い学力や実技能力を持っていること。
- 教育や志望する専攻に関わる諸問題について探究する力と、自分の考えを的確に表現する力を持っていること。

大学院教育学研究科

本学教育学研究科は、教科及び現代の教育の諸問題を探究するに足る高度な専門性と分析力を養い、学校教育における確かな実践力を培います。なかでも現職教員には、新たな知識と視野を与え、現場での指導力を高めることを、大切な方針として掲げています。本研究科では、それに相応しい意欲と資質を備えた人材を広く求めます。

また、外国人留学生については、いずれの国においてであれ、学校教育に関わることに強い意欲を持ち、自国では修得しがたい専門的視野や知識、教育方法を身につけようとする人材を積極的に受け入れます。

大学院連合教職実践研究科

連合教職実践研究科は、複雑多様な教育課題に対応できる専門的理論をもち、それらを活用・実践する力を備えた、高度専門職業人としての教員を育成することを目的としている。なかでも現職教員の入学者については、より高度な実践力と応用力、スクールリーダーとしての指導力を培うことを目的としている。

入学者受入は、一般の志願者については、教職への深い理解と優れた資質をもち、これからの学校づくりの一員として活躍し得る者を迎えることを、現職教員については、実践的な指導力や授業を展開する力を身につけ、責任感と使命感をもち、教育の場で中核を担い得る者を迎えることを基本方針とする。

特別支援教育特別専攻科

本学特別支援教育特別専攻科は、特別支援教育に情熱を持つ者、専門的な研究と教育実践力を修得する意欲を有する者を積極的に受け入れます。

∞ カリキュラム・ポリシー ∞

●教育学部カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学教育学部は、教員養成大学としての使命と教育目的等に沿った人間形成を行うために、次に掲げる能力・力量を積極的に培うことを目指して教育課程を編成・実施します。

- 基礎科目や教養科目を履修することで、自分や他者や社会を理解する広範な視点を形成し自律できる。
- 専門教育科目を履修することで、学芸の軸となる視点を身につけて教育に活用できる。
- 特に教職や実地教育に関する科目を履修することで、教員として豊かな人間性や社会性を身につけ、使命感や教育的愛情をもって教育諸課題に対応できる。

●教育学研究科カリキュラム・ポリシー

教育学研究科では、教育に関する広い視野と深い専門的な学識の上に、教育の理論と実践に関する優れた能力・力量をそなえた教育者を養成するために、以下の科目群により教育課程を編成しています。

1. 現代の多様な教育的諸課題を理解し、それらの諸課題に対応する力をえるための科目群
2. 各分野の専門的な研究を深めるための科目群
3. 教育に関する理論と教育実践とを架橋するための科目群
4. 教員としての教育実践力を高めるための科目群
5. 1～4を集大成して、主体的な研究力や課題探究能力を備えた実践的な教育力の獲得をはかるための課題研究及び修士論文

●連合教職実践研究科カリキュラム・ポリシー

連合教職実践研究科では、教育の理論と教職の実践との架橋を通じて、教職に関する高度な専門的知識と実践的指導力を統合的に有する教員を養成するために、以下の科目群による教育課程を編成しています。

1. 教職の専門性を体系的・総合的に育成するために、共通必修科目として置かれる5領域10科目からなる「教職コア科目」群
2. 高度な授業力、生徒指導力、学校経営力を育成するために、各コースの必修科目として置かれる「コース専門科目」群
特に主体的に理論と実践の融合を図るため、高度化実践研究（修了論文）をコース専門科目群に置く。
3. 学校での実務的経験を通して教職の実際について総合的に理解を深め、実践的指導力を高めるために、1年次と2年次に分けて置かれる「実習科目」群
4. 個々の課題意識をさらに深め、幅広い学識と高い実践力を育成するために、選択科目として置かれる「専門科目」群

∞ ディプロマ・ポリシー ∞

●教育学部ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本学教育学部は、教員養成大学としての使命と教育目的等に沿い、所定の単位を修得し、次に掲げる能力・力量を有すると総合的に判断された者に学士の学位を授与します。

- 教育や教職に関わるさまざまな知識や技能を修め、社会において実践・寄与する強い決意ができています。
- 深い教養や高い専門知識を修め、自らの興味・関心や問題意識を積極的に高め、学術的に探究できる。
- 豊かな感受性やさまざまな技能を養うとともに、適切に自分を表現できる。
- 健全な批判力や人権意識を備えた倫理観を形成しつつ、他者と意思疎通を図りながら自律的に判断できる。

●教育学研究科ディプロマ・ポリシー

教育学研究科では、教育に関する広い視野と深い専門的な学識を身につけ、教育の理論と実践に関する優れた能力・力量をそなえた教育者となるために、以下の能力を修得することを修了認定の基準とします。

1. 現代の多様な教育的諸問題を理解し、対応する力
2. 深い専門的な学識に裏打ちされた教育実践力
3. 主体的に研究や課題探究に取り組み、継続的に自己研鑽をはかる力

●連合教職実践研究科ディプロマ・ポリシー

連合教職実践研究科では、教育の理論と教職の実践との架橋を通じて、教職に関する高度な専門的知識と実践的指導力を統合的に有する教員となるために、以下の能力を修得することを修了認定の基準とします。

1. 教育の現状や課題を多様な文脈から読み解く力と今後のあり方を構想する力
2. 教職に関する高度な専門的知見に基盤をおいた実践的指導力
3. 自己の職能を向上させるための実践に基盤をおいた自己省察力と研究開発力
4. 豊かな人間性、社会性と高い職業倫理にねざした職務遂行力

∞ 学長メッセージ ∞



学長 細川 友秀

深い学問的知識と優れた教育実践力とを兼ね備えた「学び続ける教員」の養成と支援を目指して

これまでのあゆみ

京都教育大学は、旧制の高等教育機関であった京都府師範学校(明治9年(1876年)創立)に、その歴史をさかのぼることができます。昭和24年(1949年)には「国立学校設置法」が公布され、京都師範学校と京都青年師範学校を包括して新制大学を設置することとなり、京都学芸大学として発足しました。昭和41年には「国立学校設置法」の一部改正により京都教育大学と名称を改め、平成16年4月国立大学法人京都教育大学が設立され現在に至っています。

第3期中期目標期間のビジョン

国立大学法人化後12年が経過し、平成28年度から第3期中期目標期間がスタートしました。本学は歴史と伝統文化と大学のまち京都にあって、教職員一人ひとりが教育に関わる仕事に従事することに自信と誇りを持ち、一致協力して教員の養成・支援の目的に向かいます。そして、深い学問的知識と優れた教育実践力とを兼ね備えた学校教育教員を養成するとともに、自然や社会の真理の解明、文化を対象とする基礎研究とその成果を教育に活かすための研究を推進することによって、教育と研究に力を注ぐ個性輝く教育大学を目指します。

教育・研究

本学は、教育学部、大学院の教育学研究科と連合教職実践研究科、特別支援教育特別専攻科及び附属教育実践センター機構などの教育研究組織・施設を有し、附属の幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校・高等学校・特別支援学校を設置しています。大学教員の専門は人文科学、社会科学、自然科学、芸術、スポーツ等の分野にわたります。そのため、本学で学ぶみなさんは教科や教職の専門教育・研究指導を幅広い分野で選択でき、小中一貫校を含む附属学校園ですべての学校種の教育実践と研究指導を受けることができます。

教育学部では実践的指導力の向上を重視し、例えば、「公立学校等訪問研究」、「附属学校参加研究」、「教育実習」、「学校インターンシップ研修」、「教職課題研究実地演習」等の実地教育科目を系統的に配置し、附属学校園や公立学校等での実践的な授業と大学での講義・演習をあわせて、実践と理論の両面から主体的に学ぶことができます。特に、実践的指導力向上を目指す「6年制教員養成高度化コース」では、教育学部と大学院教育学研究科を接続して学部3回生の段階から教育学研究科への進学を見通して組織的・体系的に学び、課題意識や問題意識をもち主体的に学修に臨むことができます。

教育学研究科では、専門分野の知識と理論の理解を深め、教育現場での実践を踏まえて高度な教育関係諸科学を学び、課題研究に取り組みます。特に、研究科共通科目である「教員インターン実習」と「教職実践研究」は、各自の課題を持って学校で教育実践活動を行い、その事前・事後指導と実習結果について討論・考察する授業で、実践的な指導力を育成するために設置しています。これらの授業は、様々な教科と学校種を志望する大学院生が一緒に受講し、各自の課題を出し合い実践知を交換しつつ討論・考察する、先進的な授業であり、教育学部と接続する「6年制教員養成高度化コース」では必修科目としています。

連合教職実践研究科には、「授業力高度化」、「生徒指導力高度化」、「学校経営力高度化」の3コースがあり、教職の専門性を高めるため、大学での学びと連携協力校と附属学校を学びのフィールドとして理論と実践の融合を図るカリキュラムを準備し、高度専門職業人として学び続ける教員、指導的教員や学校管理職として活躍する教員の養成を目指しています。

地域社会及び他大学等との連携

京都は多様な大学を擁し、全国、世界から様々な学生が集まります。各大学は、それぞれの目的や建学の精神をもって教育・研究に励み、大学相互の連携を推進し、教育・研究の向上と地域への一層の貢献に取り組んできています。本学の連合教職実践研究科は、このような京都の「大学連携の文化」を土壌として、本学が基幹大学となり京都の7私立大学と連合し、京都府・市教育委員会との連携・協力のもと、全国初の大学連合教職大学院として平成20年度に設立されました。設立以来、着実に実績を積み重ね、京都・近畿地域を中心に全国に修生を送り出してきています。

さらに、本学は大阪教育大学、奈良教育大学と協同で、平成22年度から「京阪奈三教育大学連携推進協議会」を設置し、教育・学生支援、大学改革・教員養成機能強化等において連携協力を進めています。特に、平成24年度からは国立大学改革強化推進補助金を受けて、中央教育審議会が提起する「教員養成の高度化と教職生活全体を通じた学びを継続的に支援するシステム」を近畿圏においてモデル構築することを目指し、平成25年度には各大学に「教員養成高度化連携拠点」を共同設置し、「『学び続ける教員』のための教員養成・研修高度化事業」に取り組んでいます。

創立以来140年余、本学は多くの優れた教員を輩出し、日本の、とりわけ京都における教育に大きく貢献してきています。これからも、京都における義務教育に関わる教員養成の中心的役割を果たしつつ、教育現場における今日の課題に関する研究や現職教員を支援する先進的研修などの研究開発に取り組み、地域の教員養成・研修の高度化において中心的役割を担います。

∞ 沿革 ∞

京都教育大学は、昭和 24 年京都学芸大学として設置された。

その前身は明治 9 年創立の京都府師範学校までさかのぼることができる。大学の沿革は、以下のとおりである。

- 明治 9 年 5 月** 京都府師範学校授業開始・創立。
- 昭和 19 年 4 月** 京都青年師範学校が設立された。その前身は大正 15 年創立の京都府実業補習学校教員養成所である。
- 昭和 24 年 5 月 31 日** 京都学芸大学は、昭和 24 年法律第 150 号国立学校設置法により、京都師範学校、京都青年師範学校を包括して、新制国立大学 69 大学の 1 つとして、設置された。
- 昭和 26 年 3 月 31 日** 京都学芸大学に包括されていた京都師範学校、京都青年師範学校が、国立学校設置法の一部を改正する法律（昭和 26 年法律 84 号）により、廃止された。なお、同法により附属小学校・中学校及び幼稚園が設置された。
- 昭和 27 年 4 月 19 日** 特別教科（図画・工作）教員養成課程が設置された。
- 昭和 32 年 3 月 31 日** 桃山分校が廃止された。
- 昭和 32 年 9 月 1 日** 大学は、京都市北区小山南大野町 1 番地から現在地に移転した。
- 昭和 34 年 3 月 31 日** 高原分教場が廃止された。
- 昭和 34 年 4 月 1 日** 特別教科（保健体育）教員養成課程が設置された。
- 〃 学芸専攻科（教育学専攻）、（美術・工芸専攻）が設置された。
- 昭和 35 年 4 月 1 日** 臨時養護学校教員養成課程（1 年課程、半年課程）が設置された。
- 昭和 38 年 4 月 1 日** 養護学校教員養成課程が設置された。
- 〃 学芸専攻科（保健体育専攻）が設置された。
- 昭和 40 年 4 月 1 日** 附属高等学校が設置された。
- 昭和 41 年 4 月 1 日** 国立学校設置法の一部を改正する法律（昭和 41 年法律 48 号）により、京都学芸大学は京都教育大学に、学芸学部は教育学部に、学芸専攻科は教育専攻科に、それぞれ改められた。
- 昭和 42 年 4 月 1 日** 幼稚園教員養成課程が設置された。
- 昭和 43 年 4 月 1 日** 特別教科（理科）教員養成課程が設置された。
- 昭和 44 年 4 月 1 日** 附属養護学校が設置された。
- 昭和 47 年 4 月 1 日** 附属教育工学センターが設置された。
- 昭和 49 年 3 月 31 日** 臨時養護学校教員養成課程（1 年課程、半年課程）が廃止された。
- 昭和 49 年 4 月 1 日** 特殊教育特別専攻科（精神薄弱教育専攻）が設置された。
- 昭和 50 年 4 月 1 日** 保健管理センターが設置された。
- 昭和 52 年 4 月 1 日** 重複障害教育教員養成課程（1 年課程）が設置された。
- 昭和 55 年 4 月 1 日** 附属教育工学センターは、附属教育実践研究指導センターに転換された。
- 昭和 63 年 4 月 1 日** 総合科学課程が設置された。
- 平成 2 年 3 月 31 日** 教育専攻科（教育学専攻）、（美術・工芸専攻）、（保健体育専攻）が廃止された。
- 平成 2 年 4 月 1 日** 大学院教育学研究科（修士課程）（学校教育専攻）、（障害児教育専攻）、（教科教育専攻）が設置された。
- 平成 4 年 4 月 1 日** 大学院教育学研究科教科教育専攻に国語教育専修、技術教育専修が増設された。
- 平成 4 年 4 月 10 日** 附属環境教育実践センターが設置された。
- 平成 5 年 3 月 31 日** 重複障害教育教員養成課程（1 年課程）が廃止された。
- 平成 5 年 4 月 1 日** 特殊教育特別専攻科（重複障害教育専攻）が設置された。
- 平成 6 年 2 月 1 日** 情報処理センターが設置された。
- 平成 6 年 4 月 1 日** 大学院教育学研究科教科教育専攻に数学教育専修が増設された。
- 平成 9 年 4 月 1 日** 小学校教員養成課程、中学校教員養成課程、養護学校教員養成課程、幼稚園教員養成課程、特別教科（理科）（美術・工芸）（保健体育）教員養成課程、総合科学課程は、初等教育教員養成課程、中学校教員養成課程、養護学校教員養成課程、総合科学課程に統合改組された。
- 平成 11 年 4 月 1 日** 特殊教育特別専攻科（知的障害教育専攻）に名称変更された。
- 平成 12 年 4 月 1 日** 初等教育教員養成課程、中学校教員養成課程、養護学校教員養成課程は学校教育教員養成課程に統合改組された。
- 附属教育実践研究指導センターは、附属教育実践総合センターに転換された。
- 平成 16 年 4 月 1 日** 国立大学法人京都教育大学が設立された。
- 平成 18 年 4 月 1 日** 学校教育教員養成課程、総合科学課程は学校教育教員養成課程へ統合改組された。
- 平成 19 年 4 月 1 日** 附属養護学校が附属特別支援学校に改称された。
- 特殊教育特別専攻科が特別支援教育特別専攻科に改称された。
- 平成 19 年 7 月 1 日** 附属特別支援教育臨床実践センターが設置された。
- 平成 20 年 4 月 1 日** 大学院連合教職実践研究科（専門職学位課程）が設置された。
- 平成 22 年 8 月 1 日** 附属教育実践総合センターは教育支援センターと教育臨床心理実践センターに転換された。
- 〃 附属環境教育実践センターは環境教育実践センターに改称された。
- 〃 附属特別支援教育臨床実践センターは特別支援教育臨床実践センターに改称された。
- 〃 4 センターを統括する附属教育実践センター機構が設置された。
- 平成 23 年 8 月 1 日** 教育資料館が設置された。
- 平成 25 年 10 月 1 日** 教職キャリア高度化センターが設置された。

沿革略図

[京都市上京区第11組中筋町
京都御苑内旧准后里御殿を
仮校舎として創立]

[[師範学校令]公布により
学校名を改称]*

[[師範教育令]により学校名を
改称]**

京都府師範学校

- 明治9年(1876)5月 授業開始・創立
- 明治9年(1876)6月2日 開校式
- 明治12年(1879)12月2日
京都市上京区下立売釜座に新校舎
建築移転
[京都守護職御役会津藩御用屋敷址]
- 自 明治15年度 至 明治20年度
京都府師範学校に女子在学

園部分局

自 明治 9年6月
至 明治11年1月

京都府尋常師範学校

- 明治19年(1886)4月10日 改称*
- 明治21年(1888)3月
京都市上京区寺町荒神口松蔭町に
新校舎建築移転

(女子部)

- 明治19年(1886)1月23日
京都府女学校師範学科を
京都府師範学校に移設
- 明治20年(1887)7月13日
京都市上京区寺町荒神口上ルに
女子部校舎新築

京都府師範学校

- 明治31年(1898)4月1日 改称**
- 明治32年(1899)3月
京都府愛宕郡上賀茂村字小山に
校舎新築移転
- 大正7年(1918)4月
校地は京都市に編入され
京都市上京区小山西大野町1番地と
なる

京都府女子師範学校

- 明治41年(1908)4月1日 京都府師範
学校から独立して設立
京都市吉田町仮校舎で授業
- 明治42年(1909)3月 新校舎完成
京都府愛宕郡大宮村
- 大正6年(1917)12月 校舎移築
京都市伏見区桃山町井伊掃部16番地
- 京都府立桃山高等学校

併 設

自 大正 7年4月
至 昭和18年3月

京都府実業補習学校教員養成所

- 大正15年(1926)4月1日
[京都府師範学校に併設]

京都府立青年学校教員養成所

- 昭和10年(1935)4月1日
[[青年学校教員養成所令]公布]

京都青年師範学校

- 昭和19年(1944)4月1日
[官立移管に伴い改称]
- 昭和20年(1945)
[京都府船井郡高原村へ移転]

上記の学校に併設された諸課程

- ・ 京都府師範学校小学校本科正教員養成講習
(自 昭和元年度 至 昭和2年度)
- ・ 国民学校職員臨時講習
(自 昭和18年度 至 昭和19年度 合計3期)
- ・ 小学校教員臨時養成科
(昭和25年度)
- ・ 京都府傷夷軍人教員養成所
(自 昭和14年度 至 昭和17年度)
- ・ 初等科訓導養成講習
(昭和19年度)
- ・ 京都府立青年学校教員養成所臨時養成所(商業)
(自 昭和13年度 至 昭和14年度)
- ・ 京都府臨時教員養成講習所(女子の課程)
(自 昭和17年度 至 昭和20年度 合計9期)
- ・ 小学校教員特設臨時養成科
(昭和21年度)
- ・ 京都府立青年学校教員養成所臨時養成所(工業)
(昭和18年度)

[[師範教育令]改正(昭和18年3月6日)により
官立移管、学校名を改称]***

(男子部)京都市上京区小山南大野町1番地
(女子部)京都市伏見区桃山町井伊掃部16番地

京都師範学校

○昭和18年(1943)4月1日改称***

男子部・女子部

自 昭和18年度
至 昭和22年度

男女共学

自 昭和23年度
至 昭和24年度

[[国立学校設置法]公布(昭和24年5月
31日)新制国立大学設置]*****

[[国立学校設置法]の一部改正により
大学名、学部名を改称]*****

京都学芸大学

○昭和24年(1949)5月31日設置*****

○昭和30年(1955)9月1日
京都市北行政区の発足により校地は
京都市北区小山南大野町1番地の地名表示
となった

○昭和32年(1957)9月1日
京都市伏見区深草藤森町1番地に校舎移転

京都教育大学

○昭和41年(1966)4月1日改称*****

国立大学法人京都教育大学

京都学芸大学京都師範学校

○自 昭和24年(1949)5月31日

○至 昭和26年(1951)3月31日

京都学芸大学京都青年師範学校

○自 昭和24年(1949)5月31日

○至 昭和26年(1951)3月31日

京都学芸大学の設置・発足に伴い、京都師範学校、及び
京都青年師範学校の名称を変更

[[国立大学法人法]により
国立大学法人を設立]*****

学芸学部

○昭和24年
(1949)
5月31日設置

教育学部

○昭和41年
(1966)
4月1日改称*****

桃山分校

○昭和24年(1949)5月31日設置
○昭和32年(1957)3月31日廃止

高原分教場

○昭和24年(1949)5月31日設置
○昭和34年(1959)3月31日廃止

**大学院教育学研究科
(修士課程)**

○平成2年(1990)4月1日設置

**大学院連合教職実践研究科
(専門職学位課程)**

○平成20年(2008)4月1日設置

学芸専攻科

○昭和34年
(1959)
4月1日設置

教育専攻科

○昭和41年
(1966)
4月1日改称*****
○平成2年
(1990)
3月31日廃止

**特殊教育
特別専攻科**

○昭和49年
(1974)
4月1日設置

**特別支援教育
特別専攻科**

○平成19年
(2007)
4月1日改称

- ・ 京都府立青年学校工業教員臨時養成所
(昭和19年度)
- ・ 臨時養護学校教員養成課程
(自 昭和35年度 至 昭和48年度)
- ・ 二年課程
(自 昭和24年度 至 昭和33年度)
- ・ 重複障害教育教員養成課程(1年課程)
(自 昭和52年度 至 平成4年度)

∞ 役職員 ∞

学長 President	細川 友秀 HOSOKAWA, Tomohide
理事・副学長（総務・企画担当） Executive Vice President for General Affairs and Planning	岩村 伸一 IWAMURA, Shinichi
理事・副学長（教務・学生指導担当） Executive Vice President for Students	太田 耕人 OTA, Kojin
理事（労務・財務担当）・事務局長 Executive Director - General for Personnel and Finance	日向野 隆司 HIGANO, Takashi
監事（檀松・鈴木法律事務所） Auditor, UEMATSU・SUZUKI Law Office	鈴木 治一 SUZUKI, Haruichi
監事（神戸大学名誉教授） Auditor, Professor Emeritus, Kobe University	朴木 佳緒留 HOUNOKI, Kaoru
副学長（学生生活・国際交流担当）（併） Vice President for Students and International Exchange (Concurrent Professor)	井谷 恵子 ITANI, Keiko
副学長（研究推進担当）（併）・附属図書館長（併） Vice President for Research Promotion (Concurrent Professor), Director of University Library (Concurrent Professor)	沖花 彰 OKIHANA, Akira
副学長（教育実践担当）（併）・附属学校部長（兼） Vice President for Educational Research and Training (Concurrent Professor), Director of Affiliated Schools (Concurrent Professor)	谷口 淳一 TANIGUCHI, Junichi
副学長（連合教職実践研究科担当）（併）・大学院連合教職実践研究科長（併） Vice President for the United Graduate School of Professional Teacher Education (Concurrent Professor), Dean of the United Graduate School of Professional Teacher Education (Concurrent Professor)	浅井 和行 ASAI, Kazuyuki
学長補佐（併） Advisor to the President (Concurrent Professor)	大澤 弘之 OSAWA, Hiroyuki
学長補佐（併） Advisor to the President (Concurrent Professor)	濱田 麻里 HAMADA, Mari
総務・企画課総務担当課長 Head of General Affairs for General Affairs and Planning	椿野 康弘 TSUBAKINO, Yasuhiro
総務・企画課企画・広報担当課長 Head of Planning and Public Relations for General Affairs and Planning	榎本 幸水 ENOMOTO, Yukimi
研究協力・附属学校支援課研究協力担当課長 Head of Research Collaboration for Research Collaboration and Affiliated School Support	川村 泰史 KAWAMURA, Yasushi
研究協力・附属学校支援課附属学校支援担当課長 Head of Affiliated School Support for Research Collaboration and Affiliated School Support	小崎 正行 KOSAKI, Masayuki
会計課長 Head of Finance	田中 和彦 TANAKA, Kazuhiko
施設課長 Head of Facilities	沼本 國考 NUMAMOTO, Kunitaka
教務・入試課教務担当課長 Head of Academic Affairs for Academic Affairs and Entrance Examinations	富家 健治 TOMIIE, Kenji
教務・入試課入試担当課長 Head of Entrance Examinations for Academic Affairs and Entrance Examinations	竹下 順子 TAKESHITA, Junko
学生課長 Head of Student Welfare	平田 秀一 HIRATA, Syuichi
附属教育実践センター機構長（併） Director of Organization of Educational Research and Practice Centers (Concurrent Professor)	植山 俊宏 UEYAMA, Toshihiro
教育支援センター長（併） Director of Educational Support Center (Concurrent Professor)	関口 久志 SEKIGUCHI, Hisashi
環境教育実践センター長（併） Director of Center for Environmental Education (Concurrent Professor)	武田 一郎 TAKEDA, Ichiro
特別支援教育臨床実践センター長（併） Director of Center for Research and Training in Special Needs Education (Concurrent Professor)	佐藤 克敏 SATO, Katsutoshi
教育臨床心理実践センター長（併） Director of Center for Clinical Psychology and Education (Concurrent Professor)	本間 友巳 HOMMA, Tomomi
教職キャリア高度化センター長（併） Director of Center for Educational Career Enhancement (Concurrent Professor)	水山 光春 MIZUYAMA, Mitsuharu
情報処理センター長（併） Director of Information Processing Center (Concurrent Professor)	田中 多佳子 TANAKA, Takako
保健管理センター所長（併） Director of University Health Center (Concurrent Professor)	山下 宏文 YAMASHITA, Hirobumi

附属幼稚園長（併） Principal of Kindergarten (Concurrent Professor)	田中 里志 TANAKA, Satoshi
附属京都小学校長（併） Principal of Kyoto Primary School (Concurrent Professor)	岡田 直樹 OKADA, Naoki
附属桃山小学校長（併） Principal of Momoyama Primary School (Concurrent Professor)	中 比呂志 NAKA, Hiroshi
附属京都中学校長（併） Principal of Kyoto Junior High School (Concurrent Professor)	岡田 直樹 OKADA, Naoki
附属桃山中学校長（併） Principal of Momoyama Junior High School (Concurrent Professor)	榊原 禎宏 SAKAKIBARA, Yoshihiro
附属高等学校長（併） Principal of Senior High School (Concurrent Professor)	榊原 典子 SAKAKIBARA, Noriko
附属特別支援学校長（併） Principal of Affiliated School for Children with Special Needs (Concurrent Professor)	相澤 雅文 AIZAWA, Masafumi

経営協議会

■ 学内委員

学長 President	細川 友秀 HOSOKAWA, Tomohide
理事・副学長（総務・企画担当） Executive Vice President for General Affairs and Planning	岩村 伸一 IWAMURA, Shinichi
理事（労務・財務担当）・事務局長 Executive Director - General for Personnel and Finance	日向野 隆司 HIGANO, Takashi
副学長（研究推進担当）（併）・附属図書館長（併） Vice President for Research Promotion (Concurrent Professor), Director of University Library (Concurrent Professor)	冲花 彰 OKIHANA, Akira

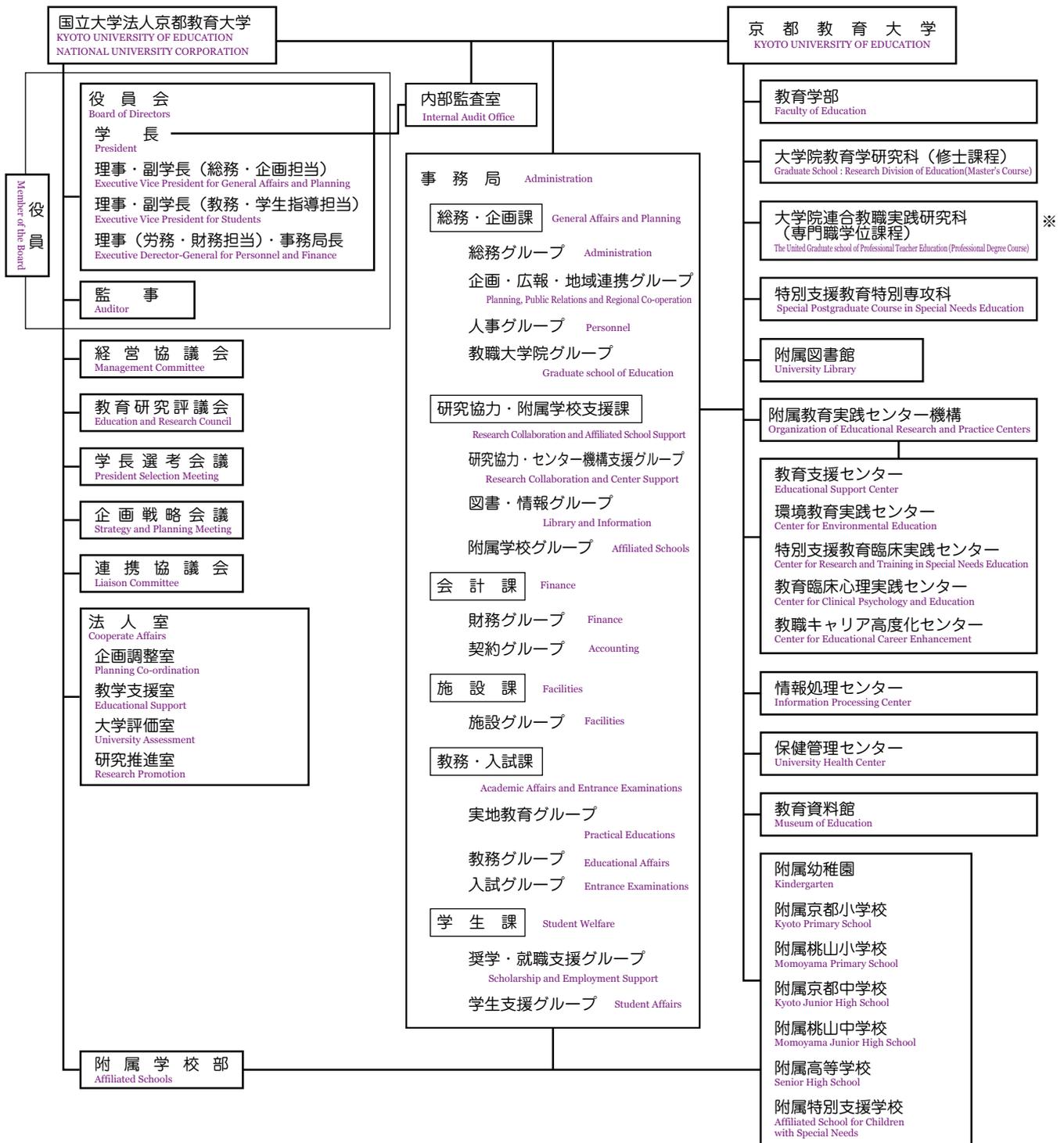
■ 学外委員

京都市教育委員会 教育次長 Vice Superintendent of Education, Kyoto City Board of Education	市田 佳之 ICHIDA, Yoshiyuki
(株)京都銀行 取締役相談役 Director and Exective Adviser, Bank of Kyoto, Ltd	柏原 康夫 KASHIHARA, Yasuo
(株)京都新聞社 代表取締役社長 主筆 President Editor in Chief, The Kyoto Shimbun Holdings Co., Ltd.	永島 宣彦 NAGASHIMA, Nobuhiko
京都府教育委員会 教育次長 Vice Superintendent of Education, Kyoto Prefectural Board of Education	橋本 幸三 HASHIMOTO, Kozo
帝塚山学園学園長 Director, Tezukayama Gakuen	柳澤 保徳 YANAGISAWA, Yasunori

教育研究評議会

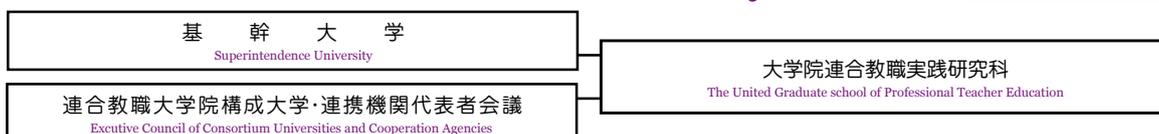
学長 President	細川 友秀 HOSOKAWA, Tomohide
理事・副学長（総務・企画担当） Executive Vice President for General Affairs and Planning	岩村 伸一 IWAMURA, Shinichi
理事・副学長（教務・学生指導担当） Executive Vice President for Students	太田 耕人 OTA, Kojin
副学長（学生生活・国際交流担当）（併） Vice President for Students and International Exchange (Concurrent Professor)	井谷 恵子 ITANI, Keiko
副学長（研究推進担当）（併）・附属図書館長（併） Vice President for Research Promotion (Concurrent Professor), Director of University Library (Concurrent Professor)	冲花 彰 OKIHANA, Akira
附属教育実践センター機構長（併） Director of Organization of Educational Research and Practice Centers (Concurrent Professor)	植山 俊宏 UEYAMA, Toshihiro
副学長（教育実践担当）（併）・附属学校部長（兼） Vice President for Educational Research and Training (Concurrent Professor), Director of Affiliated Schools (Concurrent Professor)	谷口 淳一 TANIGUCHI, Junichi
副学長（連合教職実践研究科担当）（併）・大学院連合教職実践研究科長（併） Vice President for the United Graduate School of Professional Teacher Education (Concurrent Professor), Dean of the United Graduate School of Professional Teacher Education (Concurrent Professor)	浅井 和行 ASAI, Kazuyuki
教育学部教授 Professor	伊藤 悦子 ITO, Etsuko
教育学部教授 Professor	香川 貴志 KAGAWA, Takashi
教育学部教授 Professor	武田 一郎 TAKEDA, Ichiro
教育学部教授 Professor	村上 忠幸 MURAKAMI, Tadayuki

機構図



※ 連合参加大学 Alliance participation university
 (京都産業大学、京都女子大学、同志社大学、同志社女子大学、佛教大学、立命館大学、龍谷大学)
 (Kyoto Sangyo University, Kyoto Women's University, Doshisha University, Doshisha Women's College of Liberal, Bukkyo University, Ritsumeikan University, Ryukoku University)

※大学院連合教職実践研究科組織図 United Graduate School of Professional Teacher Education Structural Diagram



∞ 教職員数 ∞

(H.28.5.1)

区 分	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	事務職員等	合 計
事 務 局						〈3〉	〈3〉
内 部 監 査 室						81	81
教 育 学 部						〈1〉	〈1〉
	1	1				1	1
教 育 学 部	53	39	6				98
大学院連合教職実践研究科	【15】 〔2〕 6	【8】 2					【23】 〔2〕 8
教育支援センター	3	2					5
環境教育実践センター	1					1	2
特別支援教育臨床実践センター	1						1
教育臨床心理実践センター	1						1
教職キャリア高度化センター	〈2〉 2						〈2〉 2
保健管理センター	1					〈1〉	〈1〉
						1	2
合 計	68	43	6			84	〔2〕 【23】 〔2〕 〔5〕 201

注：〈 〉は再雇用数で内数。〈 〉は教職キャリア高度化センター特任教員で内数。

【 】は大学院連合教職実践研究科における教員の総数（連合参加大学、京都府教育委員会、京都市教育委員会からの教員、高度化特任含む）。

〔 〕は大学院連合教職実践研究科における特任教員及び特定教員数で内数。

※上記職員数には、休職・育児休業・長期研修中の者を含む。また、事務局の事務職員等については附属学校を勤務地とする者も含む。

区 分	副校(園)長	主幹教諭	教 諭	助教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養士・調理士	合 計
附 属 学 校 部	附 属 幼 稚 園	1		〔(1)〕 4		〔(1)〕 1		〔(2)〕 6
	附 属 京 都 小 学 校	1	1	〔(1)〕 〔1〕 25		1	2	〔(1)〕 〔1〕 30
	附 属 桃 山 小 学 校			〔(2)〕				〔(2)〕
	附 属 京 都 中 学 校	1	1	15 〔(2)〕		1 〔(1)〕	1	20 〔(3)〕
	附 属 桃 山 中 学 校	1	1	21 〔(2)〕		1		24 〔(2)〕
	附 属 高 等 学 校	1	1	21 〔(3)〕 〔2〕 33		1		24 〔(3)〕 〔2〕 36
	附 属 特 別 支 援 学 校	1		〔(2)〕 26		1	1	〔(2)〕 29
	合 計	7	5	〔(13)〕 〔3〕 145		〔(2)〕 7	2	3

注：〔 () 〕は臨時的雇用数で外数。〈 〉は再雇用数で内数。

※上記職員数には、休職・育児休業・長期研修中の者を含む。

∞ 課 程 ∞

A 教育学部

教養高き人としての知識、情操、態度を育成し、学校教育、社会教育、生涯学習等の広い教育分野で地域社会に貢献できる人材を養成することを目指しています。

学校教育教員養成課程

専		攻	
教 育 学 専 攻 Educational Science	英 語 領 域 専 攻 Teaching of English	美 術 領 域 専 攻 Art Education	
幼 児 教 育 専 攻 Early Childhood Education	数 学 領 域 専 攻 Mathematics Education	音 楽 領 域 専 攻 Music Education	
発 達 障 害 教 育 専 攻 Education for Children with Disabilities	理 科 領 域 専 攻 Science Education	体 育 領 域 専 攻 Health and Physical Education	
国 語 領 域 専 攻 Teaching of Japanese	技 術 領 域 専 攻 Technology Education		
社 会 領 域 専 攻 Social Studies	家 庭 領 域 専 攻 Home Economics Education		

B 大学院

教育学研究科（修士課程）

本研究科は、学部における教養あるいは教職経験の上に、広い視野に立って精深な学識を授け教育関係諸科学の研究を深めることで、教育の理論と実践に関する優れた能力を持つ教育者の養成を目指しています。

専 攻	専 修		
学 校 教 育 専 攻 School Education	学 校 教 育 専 修 School Education		
障 害 児 教 育 専 攻 Education for Children with Disabilities	障 害 児 教 育 専 修 Education for Children with Disabilities		
教 科 教 育 専 攻 Subject Education	国 語 教 育 専 修 Teaching of Japanese	音 楽 教 育 専 修 Music Education	家 政 教 育 専 修 Home Economics Education
	社 会 科 教 育 専 修 Social Studies	美 術 教 育 専 修 Art Education	英 語 教 育 専 修 Teaching of English
	数 学 教 育 専 修 Mathematical Studies	保 健 体 育 専 修 Health and Physical Education	
	理 科 教 育 専 修 Science Education	技 術 教 育 専 修 Technical Education	

連合教職実践研究科（専門職学位課程）

本研究科は、学部における教員養成教育と現職教員の教職経験の上に、教育の理論と教職実践を深く追求させることにより、教職に関する高度専門的な知識と実践的指導力を統合的に有する教員の養成を目指しています。

専 攻	コ ー ス
教 職 実 践 専 攻 <small>Specialty of Professional Teacher Education</small>	授 業 力 高 度 化 コ ー ス <small>Advanced Classroom Instruction Program</small> 生 徒 指 導 力 高 度 化 コ ー ス <small>Advanced Student Guidance Program</small> 学 校 経 営 力 高 度 化 コ ー ス <small>Advanced School Administration Program</small>

【C】 専攻科（1年課程）

特別支援教育特別専攻科

本専攻科は、主に現職教員を対象に、発達障害学に関する精深な事項を教授し、その研究を指導して資質の向上を図ることを目的としています。

専 攻
特 別 支 援 教 育 専 攻 <small>Education for Children with Disabilities</small>



1号館（A棟）



1号館（C棟）

∞ 学生数 ∞

A 教育学部

(H.28.5.1)

課 程	入学定員	第1年次			第2年次			第3年次			第4年次			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
学校教育教員養成課程	300	152	177	329	139	183	322	140	187	327	(3)	(3)	(6)	(3)	(3)	(6)

注：() は、外数で外国人留学生を示す。

B 大学院教育学研究科(修士課程)

(H.28.5.1)

専 攻	専 修	入学定員	第1年次			第2年次			合 計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
学校教育専攻	学校教育専修	17	7	(1) 13	(1) 20	7	(2) 12	(2) 19	14	(3) 25	(3) 39
障害児教育専攻	障害児教育専修	5	0	4	4	1	5	6	1	9	10
教科教育専攻	国語教育専修	35	0	1	1	3	1	4	3	2	5
	社会科教育専修		3	4	7	5	1	6	8	5	13
	数学教育専修		5	1	6	3	1	4	8	2	10
	理科教育専修		10	2	12	11	2	13	21	4	25
	音楽教育専修		1	2	3	0	3	3	1	5	6
	美術教育専修		0	6	6	4	2	6	4	8	12
	保健体育専修		1	1	2	2	2	4	3	3	6
	技術教育専修		3	1	4	2	1	3	5	2	7
	家政教育専修		0	2	2	1	0	1	1	2	3
	英語教育専修		2	1	3	1	1	2	3	2	5
合 計		57	32	(1) 38	(1) 70	40	(2) 31	(2) 71	72	(3) 69	(3) 141

注：() は、外数で外国人留学生を示す。

C 大学院連合教職実践研究科(専門職学位課程)

(H.28.5.1)

専攻	コース	入学定員	第1年次			第2年次			合計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
教職実践専攻	授業力高度化コース	20	16	13	29	9	21	30	25	34	59
	生徒指導力高度化コース	20	14	6	20	15	11	26	29	17	46
	学校経営力高度化コース	20	6	3	9	1	0	1	7	3	10
	合計	60	36	22	58	25	32	57	61	54	115

D 特別支援教育特別専攻科

(H.28.5.1)

専攻	入学定員	在籍者		
		男	女	計
特別支援教育専攻	35	7	15	22

E 研究生・科目等履修生等

(H.28.5.1)

区分	在籍者		
	男	女	計
研究生	5 (7)	4 (11)	9 (18)
学部	4 (4)	2 (7)	6 (11)
大学院教育学研究科	1 (3)	2 (4)	3 (7)
大学院連合教職実践研究科	0 (0)	0 (0)	0 (0)
科目等履修生	18 (0)	12 (0)	30 (0)
学部	15 (0)	6 (0)	21 (0)
大学院教育学研究科	2 (0)	6 (0)	8 (0)
大学院連合教職実践研究科	1 (0)	0 (0)	1 (0)
特別聴講学生	31 (1)	13 (6)	44 (7)
学部	31 (0)	12 (6)	43 (6)
大学院教育学研究科	0 (1)	1 (0)	1 (1)
特別研究学生	0 (0)	0 (0)	0 (0)
大学院教育学研究科	0 (0)	0 (0)	0 (0)
大学院連合教職実践研究科	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	54 (8)	29 (17)	83 (25)

注：() は、外数で外国人留学生を示す。



1号館



2号館

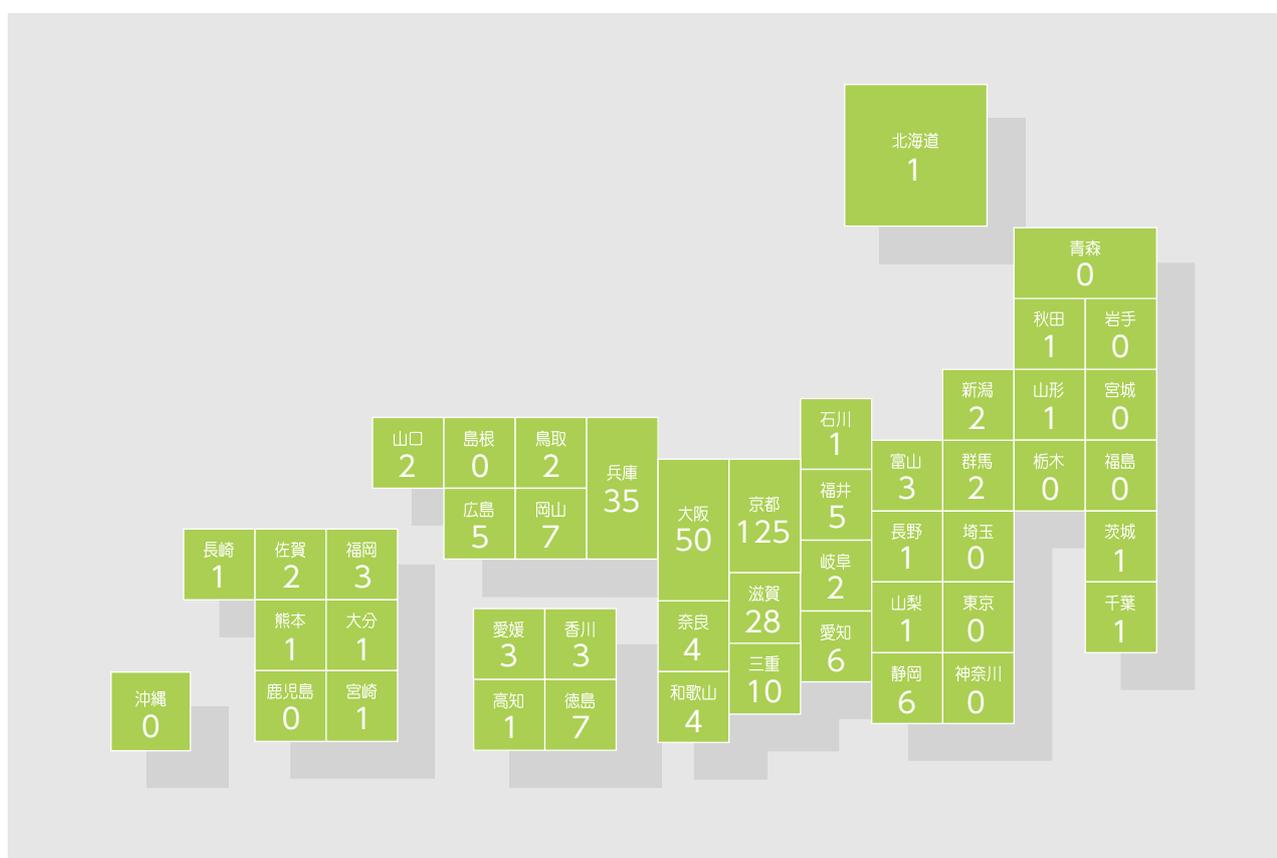
∞ 平成28年度入学者選抜実施状況 ∞

A 教育学部

(H.28.5.1)

入学者選抜の種類	入学定員	募集人員	志願者			受験者			合格者			入学者		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
一般入試（前期日程）	300	160	182	187	369	174	182	356	94	86	180	92	82	174
一般入試（後期日程）		40	144	109	253	59	50	109	29	18	47	26	17	43
特別入試（推薦入試）		80	95	159	254	93	147	240	31	60	91	31	60	91
特別入試（地域指定推薦入試）		20	17	35	52	17	35	52	3	18	21	3	18	21
合計	300	300	438	490	928	343	414	757	157	182	339	152	177	329
編入学		若干名	14	16	30	12	14	26	4	5	9	4	5	9

出身高等学校所在都道府県別入学者数



B 大学院教育学研究科(修士課程)

(H.28.5.1)

専攻	入学定員	志願者			受験者			合格者			入学者		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
学校教育専攻	17	21	(5) 43	(5) 64	18	(5) 36	(5) 54	7	(1) 16	(1) 23	7	(1) 13	(1) 20
障害児教育専攻	5	0	5	5	0	5	5	0	4	4	0	4	4
教科教育専攻	35	(1) 45	(2) 30	(3) 75	(1) 39	(2) 29	(3) 68	27	23	50	25	21	46
合計	57	(1) 66	(7) 78	(8) 144	(1) 57	(7) 70	(8) 127	34	(1) 43	(1) 77	32	(1) 38	(1) 70

注：() は、外国人留学生特別選抜を外数で示す。

C 大学院連合教職実践研究科(専門職学位課程)

(H.28.5.1)

専攻	入学定員	志願者			受験者			合格者			入学者		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
教職実践専攻	60	46	24	70	45	24	69	40	24	64	36	22	58

D 特別支援教育特別専攻科

(H.28.5.1)

専攻	入学定員	志願者			受験者			合格者			入学者		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
特別支援教育専攻	35	8	18	26	8	17	25	8	17	25	7	15	22

∞ 卒業生数及び修了者数 ∞

A 教育学部

区 分		年 度							合 計
		S25~H22	23	24	25	26	27		
学 部	4年課程	学 士(教育学)	5,645	311	347	326	311	316	7,256
		学 士(教養学)	2,279	2	0	1	-	-	2,282
		教 育 学 士	13,568	-	-	-	-	-	13,568
		学 芸 学 士	90	-	-	-	-	-	90
		合 計	21,582	313	347	327	311	316	23,196
	2年課程	1,040	-	-	-	-	-	1,040	
専 攻 科	教 育 専 攻 科	412	-	-	-	-	-	412	
	特別支援教育特別専攻科	604	25	24	21	20	16	710	
その他の課程	重複障害教育教員養成課程	231	-	-	-	-	-	231	



共通講義棟



大学院棟

B 大学院教育学研究科(修士課程)

区 分		年 度						合 計
		H3~H22	23	24	25	26	27	
専 攻	専 修							
学 校 教 育 専 攻	学 校 教 育 専 修	295	27	14	25	20	24	405
障 害 児 教 育 専 攻	障 害 児 教 育 専 修	73	4	5	5	3	6	96
教 科 教 育 専 攻	国 語 教 育 専 修	51	3	3	3	3	8	71
	社 会 科 教 育 専 修	131	11	5	5	4	5	161
	数 学 教 育 専 修	36	4	4	4	2	3	53
	理 科 教 育 専 修	158	7	9	15	12	8	209
	音 楽 教 育 専 修	68	5	3	5	2	2	85
	美 術 教 育 専 修	100	8	8	5	6	3	130
	保 健 体 育 専 修	81	5	1	6	4	3	100
	技 術 教 育 専 修	49	2	3	3	2	4	63
	家 政 教 育 専 修	41	2	0	4	3	2	52
	英 語 教 育 専 修	54	6	3	5	4	6	78
合 計		1,137	84	58	85	65	74	1,503

C 大学院連合教職実践研究科(専門職学位課程)

区 分		年 度						合 計
		H20~ H22	23	24	25	26	27	
専 攻	コ ー ス							
教 職 実 践 専 攻	授 業 力 高 度 化 コ ー ス	44	25	24	29	26	31	179
	生 徒 指 導 力 高 度 化 コ ー ス	43	20	31	28	26	24	172
	学 校 経 営 力 高 度 化 コ ー ス	29	10	9	12	10	11	81
合 計		116	55	64	69	62	66	432

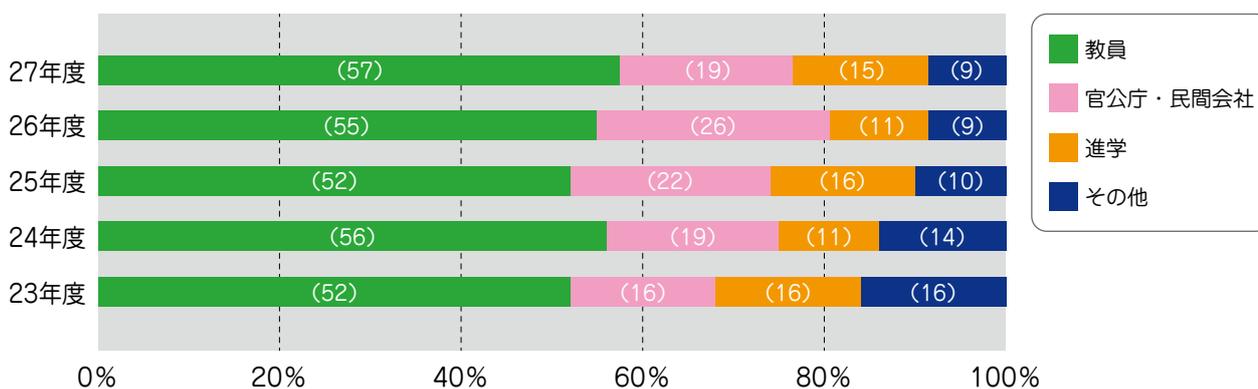
∞ 学部卒業者の就職状況 ∞

A 教育学部

(H.28.5.1)

卒業年度				23	24	25	26	27
卒業 者 数				313	347	327	311	316
就 職 員	教 員	京 都 府 ・ 市 公 立 学 校	小 学 校	51	35	42	44	43
			中 学 校	21	21	10	19	18
			高 等 学 校	11	18	11	7	7
		国 ・ 私 ・ 他 府 県 公 立 学 校	小 学 校	38	44	39	38	54
			中 学 校	14	36	28	25	17
			高 等 学 校	7	22	23	21	23
	そ の 他 の 学 校		20	19	17	16	18	
	計		162	195	170	170	180	
	官 公 庁 ・ 民 間 会 社		50	66	73	80	61	
	合 計		212	261	243	250	241	
大 学 院 進 学				51	38	53	34	48
専 門 学 校 等 へ の 入 学 又 は 留 学				2	7	5	6	5
求 職 中				28	20	12	8	7
採 用 試 験 準 備 ・ 進 学 希 望 等				7	10	8	9	5
そ の 他				13	11	6	4	10

学部卒業者の就職状況の推移



∞ 奨学生数及び貸与状況 ∞

(H.28.3.1)

区 分		教 育 学 部					専 攻 科					大 学 院				
		23	24	25	26	27	23	24	25	26	27	23	24	25	26	27
年 度		23	24	25	26	27	23	24	25	26	27	23	24	25	26	27
学 生 数 (A)		1,386	1,381	1,364	1,342	1,337	25	24	22	21	18	296	303	307	288	277
日 本 学 生 支 援 機 構	第一種奨学生	212	216	179	227	240	0	0	1	0	0	65	77	76	67	58
	第二種奨学生	318	305	247	253	236	0	0	1	0	1	31	15	7	7	5
そ の 他 の 奨 学 生		9	12	9	10	11	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
計 (B)		539	533	435	490	487	0	0	2	0	1	96	92	83	76	64
学 生 対 する 比 率 (B / A) %		39	39	32	37	36	0	0	9	0	6	32	30	27	26	23



講 堂



事 務 局

∞ 国際交流 ∞

A 外国人留学生数 Number of Foreign Students

(H28.5.1)
as of May 1, 2016

区 分 Classification	大学院生 Graduate Students		学部学生 Undergraduate Students				研究生等 Research Students	科目等履修生 Credit Auditors	合 計 Total
	1 回生 1st year	2 回生 2nd year	1 回生 1st year	2 回生 2nd year	3 回生 3rd year	4 回生 4th year			
中 国 China	1	(1) 2				6	(1) 5		(2) 14
韓 国 Korea							(4) 4		(4) 4
タ イ Thailand							(1) 5		(1) 5
インドネシア Indonesia							(1) 1		(1) 1
スリランカ Sri Lanka							(1) 1		(1) 1
イ ン ド India							(1) 1		(1) 1
ロ シ ア Russia							(2) 2		(2) 2
ウクライナ Ukraine							(1) 1		(1) 1
ド イ ツ Germany							2		2
アメリカ合衆国 United States							1		1
コロンビア Columbia							(1) 1		(1) 1
チ リ Chile							(1) 1		(1) 1
合 計 Total	1	(1) 2	0	0	0	6	(14) 25	0	(15) 34

注：() は、内数で国費外国人留学生を示す。NOTE:() indicates the number of the foreign students who were granted governmental fellowship.

B 海外派遣留学生数 Number of the Students Studying Abroad

(平成 27 年度)
F Y 2015

区 分 Classification	派遣国名 Countries	大学名 Universities	派遣学生数 Number of Students Studying Abroad
交換留学生 Exchange Student	タ イ Thailand	チュラロンコン大学 教育学部 The Faculty of Education, Chulalongkorn University in Thailand	2
		チェンマイ地域総合大学 Chiangmai Rajabhat University	1
		ピブソンクラーム地域総合大学 Pibulsongkram Rajabhat University	1
	カナダ Canada	ケベック大学 モントリオール校 University of Quebec in Montreal	3
	ド イ ツ Germany	エアランゲン・ニュルンベルク大学 人文学部及び神学科群 The Faculty of Philosophy and School of Theology, Erlangen-Nurnberg University	1
	アメリカ合衆国 United States	東 ミ シ ガ ン 大 学 Eastern Michigan University	1

C 大学間交流協定締結一覧 Sister Relationships with Other Universities

国名 Countries	締結大学名 Universities	締結年月日 Dates of Agreement
中国 China	上海師範大学 Shanghai Normal University	平成5年1月27日 January 27,1993
タイ Thailand	タイ国40地域総合大学 40 Rajabhat University in Thailand	平成7年8月25日 August 25,1995 平成23年12月27日 December 27,2011
	チュラロンコン大学教育学部 The Faculty of Education,Chulalongkorn University in Thailand	平成14年11月19日 November 19,2002
オーストラリア Australia	南オーストラリア大学 University of South Australia	平成9年9月4日 September 4,1997
韓国 Korea	春川教育大学 Chuncheon National University of Education	平成16年7月28日 July 28,2004
カナダ Canada	ケベック大学モントリオール校 University of Quebec in Montreal	平成17年4月19日 April 19,2005
ドイツ Germany	エアランゲン・ニュルンベルク大学人文学部及び神学科群 The Faculty of Philosophy and School of Theology,Erlangen-Nurnberg University	平成19年2月15日 February 15,2007 平成22年10月1日 October 1,2010
アメリカ合衆国 United States	東ミシガン大学 Eastern Michigan University	平成26年4月16日 April 16,2014

D 国際交流会館 International House

建物面積 Floor Space	1,560㎡
---------------------	--------

(1) 居住施設
Apartments

階数 Floor	区分 Type of Room	居室数 Number of Room	面積 Room Area
1 1st	単身室 Single Room	6	14㎡
	夫婦室 Couple Room	1	37㎡
	家族室 Family Room	2	50㎡
2 2nd	単身室 Single Room	10	14㎡
	夫婦室 Couple Room	2	37㎡
	家族室 Family Room	2	50㎡
3 3rd	単身室 Single Room	10	14㎡
	夫婦室 Couple Room	3	37㎡
4 4th	単身室 Single Room	10	14㎡

単身室 36室
36 Single Rooms

家族室 4室
4 Family Rooms

夫婦室 6室
6 Couple Rooms

計 46室
Total 46 Rooms

(2) 併用施設
Common-use Facilities

研修室 106㎡ (1F)
Hall
ランドリー 8㎡ (1F～4F)
Laundry

(3) その他
Other Facilities

事務室 17㎡ (1F)
Office
玄関ロビー 68㎡ (1F)
Lobby



国際交流会館
International House

∞ 公開講座 ∞

(H28.5.1)

講座名	開講時期	募集人員
幼稚園の自然観察・栽培・飼育実技講座	4/16～7/9	25名
野菜や草花を栽培して育てる楽しみや不思議さ、大切さを学習する体験教室	4/16～12/3	25組
シリーズ環境を考えるー自然とともに生きるー	5/14～12/3	25名
基礎から学ぶ地球科学	5/15～7/3	30名
楽しい塑造教室ー頭像とテラコッタ造りー	5/28～7/30	34名
初心者のためのロボットづくり教室	7/16～7/30	24名
オペラの魅力 バロック～古典派、古典派～ロマン派、ロマン派～近代	9/3～10/29	45名
印花表現の可能性を探る	9/3～10/29	20名

∞ 附属図書館 ∞

(H28.5.1)

区 分	面積 (㎡)	設 備
開 架 閱 覧 室	744	105 席 情報検索用端末 3 台
児 童 書 コーナー・ ブラウジングコーナー	318	36 席
書 庫	1,546	24 席 東館 4 層 140,000 冊 収蔵 西館 2 階層 247,000 冊 収蔵 リーダープリンタ 1 台
視 聴 覚 室	35	AV ブース 5 台
研 修・セミナー室	188	84 席 BD ビデオデッキ プラズマディスプレイ TV 会議システム 液晶プロジェクター
グ ル ー プ 学 習 室	32	12 席
個 人 学 習 室	59	17 席
研 究 個 室	23	4 席
ラーニングcommons	130	43 席 IPC 端末 15 台 電子黒板 1 台
企 画 展 示 室	206	
リフレッシュラウンジ	102	15 席
ホ ー ル	418	入退館管理システム 複写機 情報検索用端末 4 台 自動貸出・返却装置 1 台
管 理 室 等	556	館長室 事務室 他 業務用端末
合 計	4,357	

蔵 書

(H28.3.31)

区 分	蔵 書 冊 数		
	和 漢 書	洋 書	合 計
総 記	19,030	1,672	20,702
精 神 科 学	22,676	9,182	31,858
歴 史 科 学	29,269	2,708	31,977
社 会 科 学	140,962	16,939	157,901
自 然 科 学	33,526	18,701	52,227
工 学	13,020	1,003	14,023
産 業	9,196	501	9,697
芸 術	32,964	5,779	38,743
語 学	12,827	5,497	18,324
文 学	34,752	8,669	43,421
そ の 他	0	0	0
合 計	348,222	70,651	418,873
上記の他 次の資料を所蔵している 和 雑 誌 5,282 種類 洋 雑 誌 1,221 種類			



附属図書館

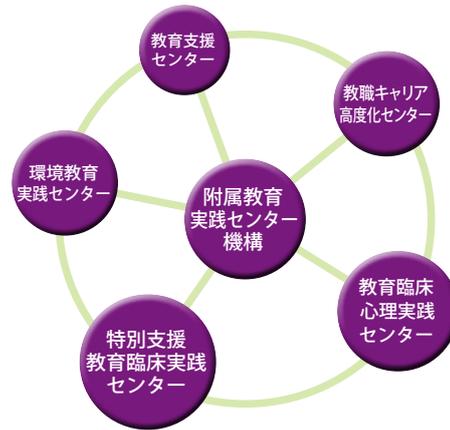


閲覧室

∞ 研究施設等 ∞

附属教育実践センター機構

次の5つのセンターを統括し、各センターが行う教育実践に関する研究・指導並びに事業の連携と調整を行います。



各センターの目的と研究内容

教育支援センター	
教育実践に関する支援並びに連携に関する事業を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ◆附属学校園並びに地域の学校園との連携による教育研究の支援及び教員の資質向上の支援 ◆実地教育に関する開発、企画、評価と学生の支援 ◆モラル・人権意識向上に資する教育の実践と研究 ◆学生の就職・キャリア形成に関する支援と研究
環境教育実践センター	
環境教育に関する専門的な研究教育を行い、かつ学生等の実験実習の場としての利用や公開講座等の広く一般の利用に供し、もって環境教育の推進を図る	<ul style="list-style-type: none"> ◆教育・研究・方法と理念の開発、教材の開発、実践的指導者の育成 ◆公開講座、施設開放の実施
特別支援教育臨床実践センター	
特別支援教育に関する臨床的研究及び指導方法の開発等を行い、教育相談や研修活動を通して地域社会に貢献する	<ul style="list-style-type: none"> ◆特別支援に関する実践的教育の推進 ◆特別支援教育に関する学内及び地域教育組織との共同事業 ◆発達・教育相談に関する研究及び事業 ◆特別支援教育に関する地域への教育支援
教育臨床心理実践センター	
教育臨床心理に関する教育・研究・地域支援並びに関連する事業を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ◆教育臨床心理に関する教育・調査・研究・開発 ◆教育臨床心理に関する附属学校園を含む地域への支援
教職キャリア高度化センター	
京都府・京都市教育委員会及び公立学校等との協働により、大学の人的資源と学術的成果を活用して、義務教育諸学校等教員の初任期から教職キャリアを積む過程全体の支援並びに支援に関する研究開発を行い、その方法と成果を大阪教育大学及び奈良教育大学と共有して、教員養成・研修の高度化を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ◆初任期教員の支援と職能向上支援 ◆初任期課題対応プログラムの開発と実施 ◆今日的課題対応プログラム、教科指導、学校経営等のプログラム開発と実施 ◆探究的学習の実践を高めるための学修の場の構築

各センターの詳細情報については、附属教育実践センター機構概要をご覧ください。

情報処理センター

総延面積	470㎡
------	------

情報処理センターは各種サーバとクライアントコンピュータを備えた学内共同利用の特別施設であり、教育研究のための多様な情報処理を支援するとともに学生に対する基礎的な情報処理教育の場を提供しています。電子メールやインターネットなどができる学内ネットワークの中核となり、さらに国内外の学術情報ネットワークに参画して研究者が必要とする学術情報を迅速的確に提供できる情報流通システムの学内拠点として活動しています。

施設等

電算機室	端末室	事務室
情報処理室	管理作業室	その他



端末室

設備

パーソナルコンピュータ	UNIX サーバ	Windows サーバ	ネットワークディスクアレイ装置
レーザープリンタ	C A I	カラーイメージスキャナ	

教育資料館（まなびの森ミュージアム）

総延面積	525㎡
------	------

1876（明治9）年に京都府師範学校として創立以来の教材、教具、作品などを整理して学術研究や学校教育、社会教育に役立てるため、2011（平成23）年に開館しました。

所蔵品は、200点以上の理化学実験器具、動植物や岩石の標本、古代エジプトのミイラの一部、絵画、書、彫刻、楽器、歴史文書、考古品などで、常設展示しています。

また、建物は旧陸軍第19旅団司令部を改装した施設です。

区 分	面積（㎡）
まなびの森ミュージアム	194
シアター	99
収蔵庫 1～5	232
合 計	525



教育資料館



∞ 厚生施設 ∞

保健管理センター

総延面積	304㎡
------	------

区 分	設 備
診察室, 検査休養室	尿分析器 VDT 視力計 心電計 オーディオメーター 脳波周波数分析装置 多様途脳波計 超音波骨評価装置 ベッド2台
相 談 室	
教 員・ 会 議 室	
リラクゼーション ルーム	ボディ・ソニック・チェアー3台 大型プラズマテレビ1台 ベッド1台
事 務 室, そ の 他	自動血圧測定装置 全自動身長体重計 体内脂肪計(自動身長計付) タッチパネル式生活習慣病チェックシステム



保健管理センター



リラクゼーションルーム

大学会館

総延面積	2,910㎡
------	--------

大集会室	共通演習室
中集会室	談話室
集会室	学生団体連絡室
和室	喫茶
食堂	生協事務室
売店(書籍・文房具・食品・雑貨類)	



大学会館

学生寮

総延面積	5,124㎡
------	--------

(H28.5.1)

区 分	深草寮(男子)	露草寮(女子)
室 数	1人室 103	1人室 80
収 容 人 員	103	80
現 員	78	49



学生寮

∞ 附属学校 ∞

附属幼稚園

明治 18 年に、京都府女学校師範学科に附設されました。本園の教育目標である①自分で考え行動することも、②想像豊かに遊ぶことも、③人・ものと共に生活を創ることも、の育成をめざしています。園庭の中央には樹齢 120 年の母なるイチョウの大木、周辺には四季を感じられる樹木や果樹、動物舎・菜園・花壇などがあります。子どもが環境に興味・関心をもちつつ、自立と共生に向けて生活するようにしています。

(H28.5.1)

区 分	学級数	現 員		
		男	女	計
3 歳 児	1	10	10	20
4 歳 児	2	30	27	57
5 歳 児	2	29	30	59
合 計	5	69	67	136



保育棟



園庭



テラス・園庭



動物舎周辺

附属桃山小学校

自ら自分たちの生活を切り開いていく「自立の力」と、互いを尊重し合いながら共に生きていく「共生の力」を育むことを目指し、学校目標を「自分の考えをしっかりと持ち、共に学び合う子ども」としています。また、「コミュニケーション能力を高める」ことに重点を置いて教育を推進し、研究としては、○新教科「メディア・コミュニケーション科」（文部科学省教育課程特例校指定）、メディアを選択し活用して、自分の思いや考えを伝え合うことができる力を育てるための教育課程・指導目標、内容、方法の更なる充実研究。○英語教育強化地域拠点事業（文部科学省研究開発指定）、小学校での英語科の教科化に向けた研究。○桃山地区三校園連携研究（附属幼稚園・附属桃山小学校・附属桃山中学校）、学びの主体性を育む連携教育研究。○「我が国の伝統・文化教育の充実に係る調査研究」（文部科学省研究指定）、伝統音楽や郷土の音楽を大切に地域と連携した教材開発も行っています。（祇園囃子・六斎芸能・お箏等）○大学との連携研究（グローバル人材育成）、と特色を持った取り組みをしています。

(H28.5.1)

区 分	学級数	現 員							
			1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	合 計
普 通 学 級	12	男	34	34	34	37	34	34	207
		女	34	34	34	33	35	37	207
		計	68	68	68	70	69	71	414



校 舎



電子黒板



市電教室

附属桃山中学校

本校は、平常の授業を充実させ、確かな学ぶ力と豊かな人間性の育成を目指しています。そして「豊かな感性、耀く個性、拡がる共生」を合い言葉に、生徒一人ひとりに活躍できる場があり、その活躍を認めあえる仲間のいる学校づくりを目指しています。また、一般学級とともに、帰国生徒教育学級を設置し、海外からの帰国生に対し、適応教育はもちろん、特性伸長教育、一般生徒との相互交流教育等の教育実践をおこなっています。そして、学校を挙げて国際教育の推進に取り組んでいます。隣接する附属幼稚園・附属桃山小学校とは、平成7年度より幼小中連携教育研究をおこなっています。

(H28.5.1)

区 分	学級数	現 員				
			1 学年	2 学年	3 学年	合 計
一 般 学 級	9	男	59	55	57	171
		女	54	64	61	179
		計 ①	113	119	118	350
帰国生徒教育学級	3	男	3	5	10	18
		女	2	8	5	15
		計 ②	5	13	15	33
合 計	12	①+②	118	132	133	383



体育館とグラウンド



ひろがる輪



前庭と校舎



特別教室棟

附属京都小中学校[※]

本校では、「自らの将来展望を切り開いていく能力を身につけ、21世紀をリードする生徒を育成する」ことを目標とし、2010年度より9年間小中一貫教育に取り組み、通称「附属京都小中学校」として新しいスタートを切りました。

教育課程ではキャリア教育を中核に据え、夢を持って自分の将来や社会について考えることのできる学校づくりに取り組んでいます。常に先行的な研究に取り組み、大学と協力して教育の実証的研究および教育実習指導の役割を担っています。

(H28.5.1)

区 分	学級数	現 員										
			1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	合 計
通 常 学 級	27	男	47	48	47	47	44	45	44	43	41	406
		女	48	48	47	47	46	45	44	46	43	414
		計 ①	95	96	94	94	90	90	88	89	84	820
特 別 支 援 学 級	6	男	0	1	0	2	2	2	4	3	3	17
		女	2	1	3	1	1	0	2	3	3	16
		計 ②	2	2	3	3	3	2	6	6	6	33
合 計	33	①+②	97	98	97	97	93	92	94	95	90	853

注：特別支援学級は、1学年から6学年は2学年の複式学級である。



西エリア(小学校)正面玄関



東エリア(中学校)正面玄関

[※]学校名は「附属京都小中学校」と称していますが、法令上の正式名称は「附属京都小学校」、「附属京都中学校」です。

附属高等学校

校章の円形に配した6個の橘の実は、本校の教育方針である、民主・文化・平和・健康な身体・高い知性・豊かな情操を表します。先導的教育研究と実践を通し、生徒ひとりひとりに温かいまなざしと熱心な指導を注ぐことで、調和のとれた人格の形成と、歴史を踏まえ社会の抱える課題に挑む気概を持った人材の育成を目指しています。

そのことは、校歌の次のような一節に象徴されます。“この混沌の人の世に 明りをつける勇氣に生きる”

平成14年度から文部科学省のスーパーサイエンスハイスクールの指定を受け、将来の科学技術の発展を担う人材の育成を目標に、従来の高校の枠組を超えた教育・研究活動を実践しています。

(H28.5.1)

区 分	学級数	現 員				
			1 学年	2 学年	3 学年	合 計
普 通 学 級	15	男	92	93	108	293
		女	110	110	97	317
		計	202	203	205	610



附属高等学校校舎正面



メディアセンター

附属特別支援学校

本校は、①小学部・中学部・高等部を通して、知的障がいのある子どもたちの自立を目指す一貫教育を行う、②学部・専攻科の障がい児教育実習や介護等体験を実施・指導する、③大学との研究協力をすすめ、教育理論の実証と創造的実践の成果を発表し、教育実践における先導的役割を担う、ことを使命としています。

(H28.5.1)

区 分	学級数	現 員							
			1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	合 計
小 学 部	3	男	1	2	2	3	1	2	11
		女	2	1	1	0	2	1	7
		計 ①	3	3	3	3	3	3	18
中 学 部	3	男	4	6	4	—	—	—	14
		女	4	2	4	—	—	—	10
		計 ②	8	8	8	—	—	—	24
高 等 部	3	男	7	5	7	—	—	—	19
		女	2	5	3	—	—	—	10
		計 ③	9	10	10	—	—	—	29
合 計	9							71	

注：小学部は、2学年の複式学級である。



小学部棟と子ども広場



中・高等部棟



玄 関

∞ 平成 27 年度財務状況 ∞

A 貸借対照表 (H28.3.31)

単位 (千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	654,513	運営費交付金債務	—
未収入金	28,652	寄附金債務	178,190
たな卸資産	974	預り金	121,648
その他の流動資産	400	1年以内返済予定長期借入金	9,996
流動資産計	684,538	未払金	553,592
		短期リース債務	98,627
固定資産		その他	974
土地	28,268,535	流動負債計	963,026
建物等	7,649,735		
備品	415,703	固定負債	
図書・美術品	1,054,598	資産見返負債	2,156,549
ソフトウェア等	35,961	長期借入金	40,028
長期投資資金	119,968	長期リース債務	86,615
その他の固定資産	2,501	固定負債計	2,283,192
固定資産計	37,547,002	負債合計	3,246,219
	38,231,540		
		純 資 産 の 部	
		資本金	35,509,389
		資本剰余金	△ 633,011
		利益剰余金	
		積立金等	39,676
		当期末処分利益	69,268
		純資産合計	34,985,322
資産合計	38,231,540	負債・純資産合計	38,231,540

B 損益計算書 (H27.4.1 ~ H28.3.31)

単位 (千円)

費 用 の 部		収 益 の 部	
人件費	4,145,322	運営費交付金収益	3,766,069
教育研究等経費	962,728	学納金収益	1,069,348
受託研究等経費	12,627	外部資金収益	228,725
一般管理費	152,309	その他	229,815
経常費用合計	5,272,986	経常収益合計	5,293,956
臨時損失	886	臨時利益	38,118
費用 合計	5,273,873	目的積立金取崩額	11,067
当期利益	69,268	収益 合計	5,343,141

C キャッシュフロー計算書

単位（千円）

業務活動によるキャッシュフロー	47,691
投資活動によるキャッシュフロー	125,648
財務活動によるキャッシュフロー	△ 110,812
資金増加額	62,527
資金期首残高	591,985
資金期末残高	654,513

D 業務実施コスト計算書

単位（千円）

国立大学法人等業務実施コスト	4,204,057
----------------	-----------

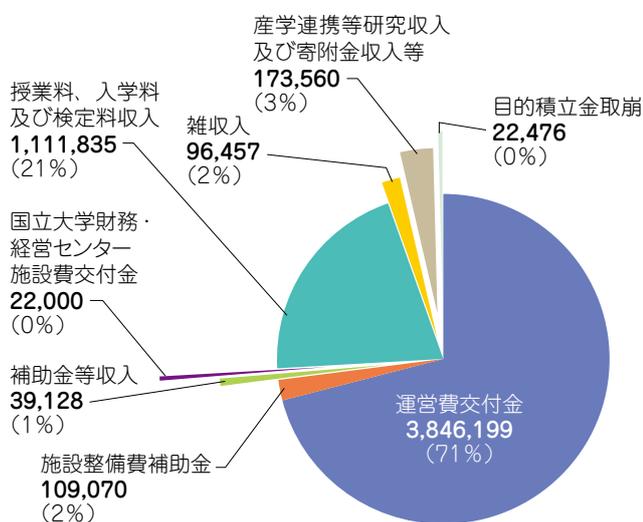
E 決算報告書

単位（千円）

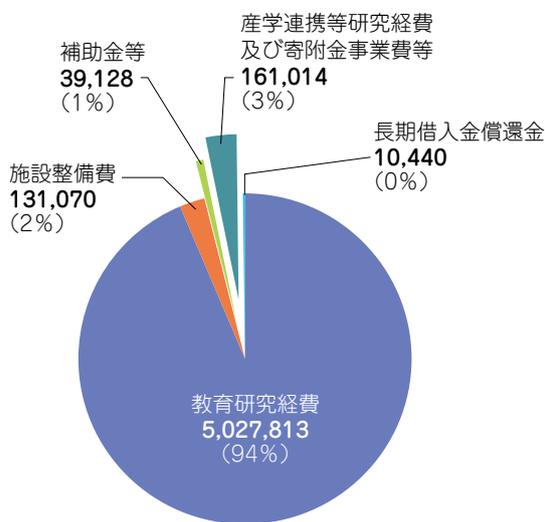
区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決 算 - 予 算)
収入			
運営費交付金	3,546,717	3,846,199	299,482
施設整備費補助金	109,070	109,070	0
補助金等収入	60,653	39,128	△ 21,525
国立大学財務・経営センター施設費交付金	22,000	22,000	0
授業料、入学金及び検定料収入	1,154,447	1,111,835	△ 42,612
雑収入	79,617	96,457	16,840
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	135,400	173,560	38,160
目的積立金取崩	22,475	22,476	1
計	5,130,379	5,420,725	290,346
支出			
教育研究経費	4,792,816	5,027,813	234,997
施設整備費	131,070	131,070	0
補助金等	60,653	39,128	△ 21,525
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	135,400	161,014	25,614
長期借入金償還金	10,440	10,440	0
計	5,130,379	5,369,465	239,086
収入－支出	0	51,260	51,260

※端数は四捨五入しているため、合計額は必ずしも一致しない。

収入決算



支出決算



F 外部資金獲得状況

単位（千円）

区 分	件 数	金額（間接経費含む）
科学研究費助成事業採択状況	111	76,047
科学研究費（新学術領域研究）	1	780
科学研究費（基盤研究（A））	4	1,883
科学研究費（基盤研究（B））	35	22,573
科学研究費（基盤研究（C））	59	40,188
科学研究費（挑戦的萌芽研究）	2	1,183
科学研究費（若手研究（B））	5	5,200
科学研究費（研究活動スタート支援）	1	1,040
科学研究費（奨励研究）	2	800
科学研究費（研究成果公開促進費）	2	2,400
奨学寄附金受入状況	36	160,551
大学教育研究振興助成	10	18,834
教員個人研究助成	1	600
附属学校教育研究助成	25	141,118
受託事業等受入状況	9	12,663
兵庫県立丹波並木道中央公園における篠山層群露頭調査・研究	1	76
京に住まう心を育てる住教育支援のためのプログラム開発	1	200
研究成果の社会還元・普及事業	1	528
学校図書館司書教諭講習	1	664
英語教育強化地域拠点事業	1	3,496
発達障害に関する教職員育成プログラム開発事業	1	5,969
京都教育大学研修講座の研修業務	1	263
KYOTO 駅ナカアートプロジェクト	1	171
我が国の伝統・文化教育の充実に係る調査研究事業	1	1,297
運営費交付金・特別経費等	3	43,053
教職大学院における豊かな国際性を育成するカリキュラムの改革	1	5,298
「グローバル人材育成プログラム」の開発	1	9,255
「学長のリーダーシップの発揮」を更に高めるための特別措置枠	1	28,500

G 土地及び建物

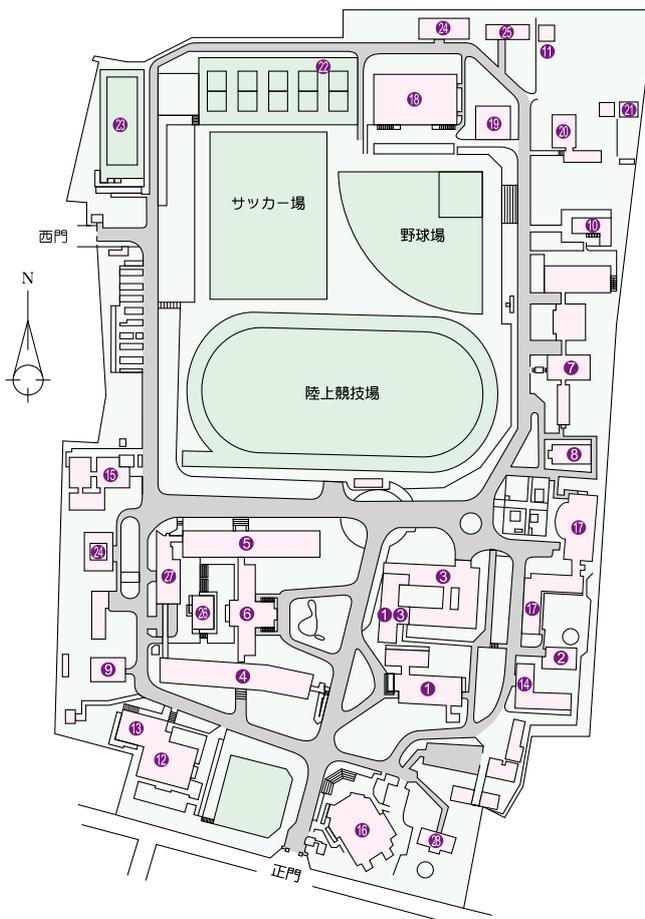
（㎡）

区 分	土 地	建 物
藤森学舎	140,724	40,498
第二学舎	8,936	—
環境教育実践センター	9,723	793
学生寮・国際交流会館	14,695	6,684
附属幼稚園	2,415	870
附属京都小学校	19,524	7,662
附属桃山小学校	12,296	5,771
附属京都中学校	17,936	6,030
附属桃山中学校	22,091	6,212
附属高等学校	37,553	7,968
附属特別支援学校	34,083	4,327
外国人宿舎	245	139
藤森宿舎	5,042	3,575
山の家	2,314	318
合 計	327,577	90,847

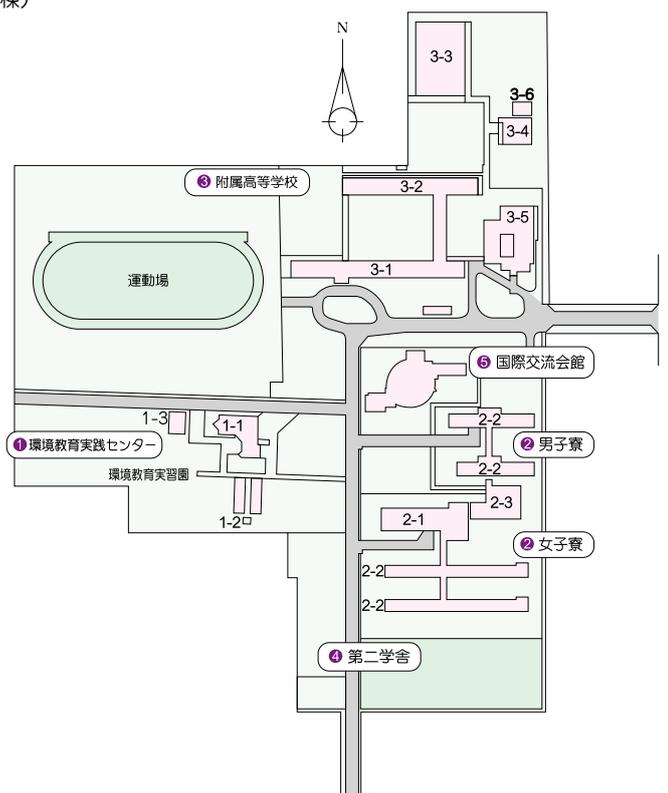
施設配置図

藤森学舎

- ① 事務局
- ② 保健管理センター
- ③ 附属図書館
- ④ 1号館 (A棟)
- ⑤ 1号館 (B棟)
- ⑥ 1号館 (C棟)
- ⑦ 2号館 (D棟)
- ⑧ 音楽演奏室
- ⑨ 理科共通実験棟
- ⑩ 美術基礎実習棟 (E棟)
- ⑪ 陶芸実習室
- ⑫ 共通講義棟 (F棟)
- ⑬ 特別支援教育臨床実践センター
- ⑭ 共通実習棟
- ⑮ 教育支援センター・教育臨床心理実践センター・教職キャリア高度化センター
- ⑯ 講堂
- ⑰ 大学会館
- ⑱ 体育館
- ⑲ 武道場
- ⑳ トレーニングセンター
- ㉑ 弓道場
- ㉒ テニスコート
- ㉓ プール
- ㉔ 課外活動施設
- ㉕ 合宿所
- ㉖ 情報処理センター
- ㉗ 大学院棟 (G棟)
- ㉘ 教育資料館



第二学舎地区



- ① 環境教育実践センター
 - 1-1 管理棟
 - 1-2 温室
 - 1-3 有機物リサイクルシステム実験実習棟
- ② 学生寮
 - 2-1 管理室、食堂
 - 2-2 寮室
 - 2-3 食堂
- ③ 附属高等学校
 - 3-1 管理室、普通教室
 - 3-2 特別教室
 - 3-3 体育館
 - 3-4 武道場
 - 3-5 メディアセンター
 - 3-6 トレーニングルーム
- ④ 第二学舎
- ⑤ 国際交流会館

京都地区附属学校

1 附属京都小学校

- 1-1 管理室、教室
- 1-2 多目的図書館棟
- 1-3 芸術館
- 1-4 体育館
- 1-5 総合活動館
- 1-6 プール

2 附属京都中学校

- 2-1 管理室、普通教室
- 2-2 特別教室
- 2-3 講堂、コンピューター教室
- 2-4 体育館
- 2-5 多目的校舎



桃山地区附属学校

1 附属桃山小学校

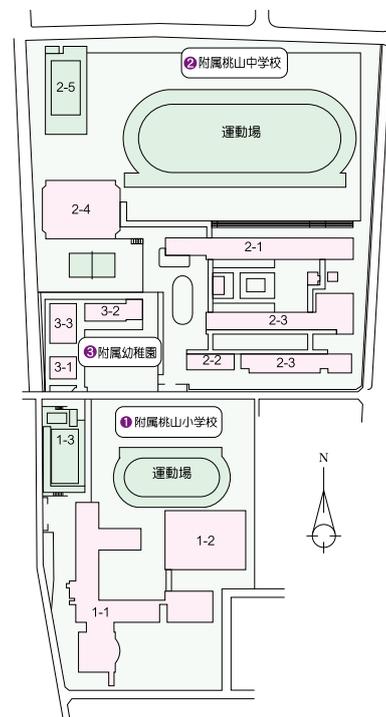
- 1-1 管理室、教室
- 1-2 体育館
- 1-3 プール

2 附属桃山中学校

- 2-1 管理室、教室
- 2-2 帰国子女学級教室
- 2-3 特別教室
- 2-4 体育館
- 2-5 プール

3 附属幼稚園

- 3-1 管理室
- 3-2 保育室
- 3-3 遊戯室



附属特別支援学校

- 1 管理室
- 2 小学部教室
- 3 中高等部教室
- 4 体育館
- 5 プール
- 6 日常生活訓練棟
- 7 こども広場
- 8 キャンプ広場
- 9 探検ゾーン
- 10 自然観察園
- 11 特別教室棟



ACCESS MAP



交通案内

- 1 藤森学舎地区**
 JR 奈良線
 JR 藤森駅下車 徒歩約3分
 京阪本線
 墨染駅下車 徒歩約10分
- 2 第二学舎地区**
 近鉄京都線
 伏見駅下車 徒歩約7分
 京阪本線
 墨染駅下車 徒歩約7分
- 3 京都地区附属学校**
 地下鉄烏丸線
 鞍馬口駅又は北大路駅下車
 徒歩約10分
 市バス
 北大路新町又は北大路堀川下車
 徒歩約3分
- 4 桃山地区附属学校**
 近鉄京都線
 丹波橋駅下車 徒歩約3分
 京阪本線
 丹波橋駅下車 徒歩約4分
- 5 附属特別支援学校**
 JR 奈良線
 JR 藤森駅下車 徒歩約10分
 京阪本線
 墨染駅下車 徒歩約15分

京都市
Kyoto City

∞ 所在地 ∞

区 分	所 在 地	電 話 番 号
事 務 局 教 育 学 部 大 学 院 教 育 学 研 究 科 大 学 院 連 合 教 職 実 践 研 究 科	〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地	総務・企画課 (075) 644-8106 研究協力・附属学校支援課 (研究協力担当) (075) 644-8242 (附属学校担当) (075) 644-8391 会計課 (075) 644-8122 施設課 (075) 644-8135 教務・入試課 (教務担当) (075) 644-8147 (入試担当) (075) 644-8161 学生課 (075) 644-8165
附 属 図 書 館		(075) 644-8176
教 育 資 料 館		(075) 644-8840 または (075) 644-8175
教 育 支 援 セ ン タ ー		(075) 644-8335
特 別 支 援 教 育 臨 床 実 践 セ ン タ ー		(075) 644-8354
教 育 臨 床 心 理 実 践 セ ン タ ー		(075) 644-8824
教 職 キ ャ リ ア 高 度 化 セ ン タ ー		(075) 644-8335
情 報 処 理 セ ン タ ー		(075) 644-8340
保 健 管 理 セ ン タ ー		(075) 644-8170
環 境 教 育 実 践 セ ン タ ー		〒612-8431 京都市伏見区深草越後屋敷町112番地
附 属 幼 稚 園	〒612-0071 京都市伏見区桃山井伊掃部東町16番地	(075) 601-0307
附 属 京 都 小 学 校	〒603-8164 京都市北区紫野東御所田町37番地	(075) 441-4166
附 属 桃 山 小 学 校	〒612-0072 京都市伏見区桃山筒井伊賀東町46番地	(075) 611-0138
附 属 京 都 中 学 校	〒603-8163 京都市北区小山南大野町1番地	(075) 431-7131
附 属 桃 山 中 学 校	〒612-0071 京都市伏見区桃山井伊掃部東町16番地	(075) 611-0264
附 属 高 等 学 校	〒612-8431 京都市伏見区深草越後屋敷町111番地	(075) 641-9195
附 属 特 別 支 援 学 校	〒612-0847 京都市伏見区深草大亀谷大山町90番地	(075) 641-3531
男 子 寮 女 子 寮 (深 草 寮) ・ (露 草 寮)	〒612-8431 京都市伏見区深草越後屋敷町114番地	(075) 641-7311 (深草寮) (075) 641-2193 (露草寮)
国 際 交 流 会 館		(075) 646-2431



KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION 2016

国立大学法人 **京都教育大学**

総務・企画課 平成28年7月